

むろらん 市議会だより

発行責任者／室蘭市議会議長
編集・発行／広報特別委員会

わがまち21世紀の宝



昭和22年開校の北辰中学校と昭和26年開校の港南中学校の統合により、平成25年4月に開校する「室蘭西中学校」。北辰中学校のグラウンドに校舎（鉄筋コンクリート4階建て）が建設されています。北辰中学校ではこれまで、約19,000人、港南中学校では約11,000人も卒業生を輩出し、皆さんさまざまな分野で活躍されています。室蘭西中学校には、中央・港南地区の未来に向かって、新たな伝統を築いてもらいたいです。

平成24年第4回室蘭市議会定例会日程

- 12月 3日 本 会 議（開会、議案説明ほか）
- 12月 6日 本 会 議（質疑・一般質問）
- 12月 7日 委 員 会（議会運営）
- 12月 7日 本 会 議（質疑・一般質問）
- 12月10日 本 会 議（質疑・一般質問、各委員会への議案の付託ほか）
- 12月11日 常任委員会（総務、経済建設）
- 12月12日 特別委員会（エネルギー政策及びJX日鉱日石エネルギー株式会社室蘭製油所製油機能存続・維持対策等）
- 12月13日 常任委員会（民生）
- 12月13日 特別委員会（予算審査）
- 12月14日 委 員 会（議会運営）
- 12月17日 本 会 議（各種議案の議決ほか、閉会）

第4回定例会開催

平成24年第4回室蘭市議会定例会が、左記日程のとおり、15日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、補正予算5件（専決処分1件を含む）、条例改正等を含む議案5件、人事案件2件、意見書案2件、決議案1件、その他1件について、審議・議決しました。

また、閉会中に審査した平成23年度の一般会計及び3特別会計歳入歳出決算については、定例会初日に認定議決しました。

質疑・一般質問

議員9人の質疑・一般質問及び答弁から17項目を取り上げ、要旨を紹介します。

公明党室蘭市議会
柏木 隆寿

暴風雪被害及び大規模停電を受けての課題について

【問】学校や公園周辺を中心に樹齢を重ねた大木等の倒木が多かったが、生活道路や通学路などの安全を考え植えかえも含めた対策が必要では。

【答】施設の管理パトロールに合わせ倒木での被害が大きいと予想される大木は打音検査等を行い、危険と判断した場合は伐採等を検討していく。

【問】災害時要援護者への避難所開設の情報伝達と福祉避難所や介護、医療施設等への一時避難対応及び今後の福祉避難所を増設する考えは。

【答】各避難所に職員を配置し、適宜対応できる態勢で臨んだ。福祉避難所の増設については民間の福祉施設の協力を得る中で検討していく。

市政創造
古澤 孝市

ウインズ室蘭について

【問】馬券場施設の閉鎖は認められない。本輪西地区だけでなく室蘭全体の経済問題として捉えてほしいと地元から要望書が提出されたが考えは。

【答】市ではJRA本部に要請し、この内容を地元活性化促進会の役員に報告した。オーナーとの話し合いを見守りつつ地域として納得に向かうよう進めていきたい。

イオン室蘭店移転の動向について

【問】イオン室蘭店の移転先として東中学校跡地へという話は、いつ頃をめどに結論を出すのか。

【答】これまで4回の協議を行い、鉾津スラグ(※)の埋設状況や津波避難ビルの必要性

を説明し、今年度内を目標に土地利用の方向づけを図りたい。

元 風会
金濱 元一

東中学校跡地利用について

【問】東中学校跡地に埋設している鉾津スラグ(※)の量と撤去費用は。

【答】スラグの総量は約6,700トンと想定され、撤去費用は約1億8,000万円程度と見込まれる。

崎守埠頭の鉄道引き込み線活用について

【問】北海道開発局が実施するトライアル事業の背景と市のかかわりは。

【答】北海道国際輸送プラットフォームの中で、小口貨物を安価に輸送できる仕組みの充実が必要なことから、鉄道の引き込み線が岸壁近くまで来ている室蘭港において12フィートコンテナを利用したトライアル事業の実施に至った。



今後の活用が期待される崎守埠頭引き込み線

市民ネット・むらじり
立野 浩靖

地方卸売市場について

【問】耐震診断の結果と今後の考え方、スケジュールは。

【答】結果については大規模地震における耐震性が不足していることを示す数値が判明。老朽化が進んでいることから検討部会を立ち上げて市場のあり方について多方面の議論、検討を行っていく。

白鳥大橋記念館について

【問】今後の魅力アップは、どのようにするのか。

【答】物産や情報発信、展示に

市政創造
早川 昇三

市立室蘭総合病院経営改革プランについて

【問】経営改革プランの24年度の見込みと25年度以降の新たな経営改善の基本的な考えと今後の取り組みは。

【答】今後は、看護師の計画的な増員により、看護配置基準を達成することや、365日リハビリを目標したりハビリ技師の増員を中心に、3カ年程度で目標を達成する。また、看護配置基準を達成するため、条例定数528名を600名にしたいと考えている。

本市の防災対策について

【問】今回の停電ではコンビニが果たした役割は大きいが協定はこのようになっていくのか。

【答】協定は道と締結しているが、今後は市としても締結に向けて取り組んでいく。

新緑会 早坂 博

就労支援策について

【問】母子家庭や生活保護受給者に対する就労支援策は。

【答】母子家庭には高度技能訓練促進費等事業による給付金の支給やひとり親ヘルパー派遣事業などを行っている。また生活保護受給者には就労支援員を配置し就労意欲の喚起、ハローワークへの同行訪問などの支援を行っている。



就労支援・雇用促進のかけ橋となるハローワーク

市道の整備について

【問】輪西社宅通は都市計画決定されてから相当な年数が経過している。早期整備要望に対する市の基本的見解は。

【答】全市的に市道は更新期を迎え整備が必要となり厳しい状況にあるが、アンケート調査を実施し事業の可能性を検討していきたい。

市政創造

徳中 嗣史

青山カラーを出した

政策について

【問】青山市政の折り返し時期となり、青山カラーを前面に出した施策と予算編成をなすべき時ではと考えますが。

【答】平成25年度予算編成では特に、災害に強いまちづくりの推進、市民力を生かしたまちづくりの推進、公共施設再整備の推進に重点的に取り組みたい。



停電事故時の

情報伝達について

【問】停電地区と通電地区の情報が市民に伝わらなかつた。市の代表電話はつながらず、メディアによる情報もFMビユー以外は少なく、情報伝達に問題があつたのでは。

【答】町会長や民生委員などへ電話により連絡を図つたが、停電のため不通も多かつた。

日本共産党青島市議

田村 農夫成

民主党政権の影響と対策

【問】子ども手当支給停止による減税廃止の影響は。

【答】1,500名程度で影響額は約7,000万円と推計される。

【問】高すぎる国保料をせめて1万円は下げしてほしいと言つのが市民の願いであるが、現状は。

【答】保険料は23年度に一世帯当たり3,826円、24年度に1215円引き下げている。

【問】国民年金の状況は。

【答】物価、賃金に変更不要という仮定では老齢基礎年金が

平成27年4月から1,675円/月減少で6万3,866円となる。

【問】月々わずか5万円の年金で暮らす市民にとつて国保、介護の負担は重い。保険料独自減額の考えは。

【答】市財政は厳しい状況であり、国の動向を見ていく。

室蘭まちづくりネット

南川 達彦

災害対策について

【問】災害時、町内会・自治会への連絡がつかない場合の今後の対応策は。

【答】携帯電話番号の把握に加え、最終的な手段として直接訪問、情報の掲示なども協議しながら検討していく。

白鳥大橋ハーフマラソンについて

【問】室蘭の観光事業として定期開催すべきでは。

【答】周年事業としての開催と考へており、今後も関係機関との協議が必要である。



好天に恵まれた白鳥大橋ハーフマラソン・ウォーク

一次保育について

【問】受け入れ人数拡大と申込期間の拡大の考えは。

【答】受け入れ人数については今後の利用状況を見て検討する。申込期間拡大については弾力的に対応していく。

【用語解説】

※**鉱滓スラグ**：鉱石から金属を取り出すときなどに生じる鉱物成分などを含む物質。たたら製鉄などでは「のり」とも呼ばれた。

市民と議会との懇談会

「市民と議会との懇談会とは」

- 平成24年度から実施
- 市議会議員自らが地域へ出向き
- 市民の方から幅広く意見を聴き
- 市民意見を反映した政策提言を図る

こうしたことを目的に総務常任委員会、民生常任委員会、経済建設常任委員会がそれぞれ所管する事項からテーマを決定し、市内の関係団体を対象に開催するものです。

10月に実施した当懇談会について報告いたします。

総務常任委員会

- 佐藤委員長、
- 常磐井副委員長
- 高橋委員、山中委員、
- 早坂委員、砂田委員、
- 徳中委員

日時：10月19日

午後6時～8時

会場：室蘭市

体育館会議室

懇談対象団体：

(一財) 室蘭市体育協会

懇談対象団体概要：

室蘭市におけるスポーツの普及振興のために必要な事業を行い、市民の健康・体力増進に寄与することを目的とした団体

総務常任委員会と室蘭市体育協会及び加盟団体との懇談会は、宮の森町の市体育館で開催されました。

総務常任委員長の開会あいさつ、出席者がそれぞれの自己紹介後、委員長が開催目的及び趣旨について説明。委員が市議会の役割と仕組みについて述べました。

懇談のテーマであるスポーツ振興に関する室蘭社会教育中期推進計画について、意見が交わされました。

中期推進計画に対する関連施設の整備計画や年次計画の有無やパークゴルフ教室開催の有無などについての意見が出されました。

パークゴルフ協会からは、白鳥大橋パークゴルフ場の36ホール整備についての意見や100人規模の大会を開催した場合のクラブハウスや付帯設備の整備が欠かせないなどの意

見が寄せられました。

サッカー協会からは、社会人サッカーの拠点グラウンドとして祝津公園グラウンドの人工芝化の要望、施設が不足しているとの意見もありました。

陸上協議会からは、老朽化している入江運動公園陸上競技場の改修とナイター整備とランニングロードの整備を求める声が上がりました。

また、セーリング協会からは国際拠点港湾である室蘭港のスポーツ利用の難しさと市の協力について意見があがりました。



総務常任委員会での懇談会風景

加盟団体からは設備の老朽化対策を求める意見とともに、指導者の育成強化に力を入れ

てほしいという意見も多くありました。また、小中学校の統廃合に伴うスポーツ拠点の減少対策として統廃合校の体育館やグラウンドを活用できるように求める意見がありました。

民生常任委員会

- 児玉委員長、
- 南川副委員長
- 立野委員、早川委員、
- 田村委員、我妻委員、
- 細川委員

日時：10月18日

午後5時～7時

会場：中小企業センター

会議室

懇談対象団体：

(NPO) 室蘭市手をつなぐ育成会

懇談対象団体概要：

むろらんワークセンターの運営を行い、近郊在住の知的障がい者及びその家族の福祉増進等を目的とした団体

民生常任委員会は、「室蘭市障害者支援計画」をテーマと

し開催いたしました。開催に当たり懇談会の目的と趣旨、市議会の役割と仕組みを委員長より説明の後、現場で実際に困っていることや不便を感じていること、または改善してほしいこと等を出席された方々からあげていただきました。

その中でも、制度、就労に関する御意見を多くいただきました。主なものとしては、一般就労時における福祉サービスの利用制限、課税世帯のサービス利用料の負担軽減、サービス利用料を前年度収入で判定する問題、通院時の乗降介助の利用拡大及び実費負担の軽減、雇用先の確保、授産施設で生産している野菜等の学校給食での使用等、現状の課題に加え具体的な御提案もいただきました。

生活の支援として、健康診断や予防接種の公費負担、通所施設等の整備、障害の判断から治療、指導ができる医療機関（医師）の設置といった医療に関するものや、グループホーム等住居環境の整備、災害発生時の障がい者等要援護者の避難対策の整備、知的

障がい者への移動支援といった施設や災害対策等、多岐にわたる意見が出されました。

教育に関する意見としては、知的障がい児に対する特別支援学級の支援員の増員、福祉と教育の連帯強化、放課後児童対策における障がい児受け入れの問題等、切実な声がありました。

委員側からは、勉強会などで障がい児・者に対する理解を深める必要があること、国の制度が遅れている分、市独自の対応も必要であり、これから質問で取り上げていきたい等の意見が示されました。



民生常任委員会での懇談会風景

地域によってはいまだ障害に対する偏見や差別があるため啓もう活動を積極的に行っ

てほしい、生まれた土地で働き生活したい、そして親が先に亡くなっても子供が安心して生活できるような福祉のまちづくりの基盤を整備してほしいとの訴えが心に強く残りました。

経済建設常任委員会

岡田委員長、
小田中副委員長
金濱委員、柏木委員、
古澤委員、羽立委員、
山川委員

日時：10月17日

午後6時～8時

会場：市議会第1会議室

懇談対象団体：

室蘭浜町商店街振興組合、
室蘭中央三丁目商店街振興組合、
大町商店会、
みなど五町連合会、
中央町六町連合会、
蘭西七町連合会

懇談対象団体概要：

中央地区の商店街振興組合・商店会（商業者）及び連合町会（消費者）

経済建設常任委員会は、「中央地区の今後のまちづくりについて」をテーマに懇談会を開催いたしました。

開催に当たり、この懇談会の目的と趣旨、市議会の役割と仕組みについて説明をさせていただきました。

そして、中央地区における消費動向や商業環境及びこれまでの取り組み状況などの資料説明を行ってから懇談に入りました。

まずは、商業者側から「中央地区の建物・ビルが老朽化しており、設備投資への負担増や駐車場問題等で出店が進まない」「買い物弱者が出ている。商品がニーズにマッチしていない」「長崎屋中央店閉店に伴って、消費者の流れが変わった」「後継者の問題は、非常に難しい」などの意見が出され、消費者側からは「長崎屋閉店により核となる施設がなくなり、「コミュニケーション」の場がなくなった」「若い人が集まるように、協働でまちづくりを」「みんながなんとかならないかという思いだ」「若者も行ける魅力的なまちづくりを」などの意見が出されま

した。

委員のほつからは、「中央地区の特色を出したまちづくりを」「例えば、市場の移動や再開発を皆さんと回結してまちづくりを進めたい」「小さい商店街の連続性を持ったまちづくりが必要」「宅配や移動手段等、地域としてどんなニーズを求めているのか」などの意見が出されました。

当初は緊張ぎみだった雰囲気は、時間が経つにつれ和らぎ、今後のまちづくりに対する活発な意見が出され、情報の共有が図れたと考えます。これらの声を今後のまちづくりや政策立案に結びつけて活動をしていく所存であります。



経済建設常任委員会での懇談会風景

